

なかぐしくうどうん
中城御殿跡地整備検討委員会
第 1 回

第 1 回委員会： 7 月 1 4 日（水） 14：00～

【資料 1】中城御殿跡地整備検討委員会について

1. 中城御殿跡地整備基本計画の改定の経緯（首里城火災後）
2. 中城御殿跡地整備基本計画の改定に関する主な検討事項
3. 中城御殿跡地整備検討委員会に関連する委員会等（令和 3 年度）
4. 令和 3 年度中城御殿跡地整備検討委員会
5. 検討スケジュール（予定）

1. 中城御殿跡地整備基本計画の改定の経緯（首里城火災後）

令和2年度首里城復興基本計画に関する有識者懇談会（県）での主な指摘

- 国の城郭内復元計画と連携し、国営・県営公園区域が一体的に利用運営され、魅力向上が図れるよう**展示や収蔵庫の城郭外への配置**や、利用動線や案内解説等の機能向上、歴史・文化の情報発信の強化や周遊観光等の促進が必要。
- 公園の魅力向上や周辺歴史まちづくりの推進のため、拠点として**中城御殿跡**や**円覚寺跡**等の文化遺産の計画的な復元が必要。
- **貴重なオリジナルの美術工芸品は城郭外に出すことを検討する必要がある。**

令和2年度首里城美術工芸品等管理委員会（沖縄美ら島財団）による美術工芸品の被害調査

- 首里城火災により美術工芸品等1,510点のうち391点が焼失し、焼失を免れたものについても熱や水による被害を受けるなど、建物だけでなく、城郭内で展示収蔵していた美術工芸品等も甚大な被害を受けたことを確認。

令和2年12月15日 沖縄県の方針_首里城復興推進本部会議

- 火災による美術工芸品の被害状況や、有識者懇談会などでの「**貴重なオリジナルの美術工芸品は城郭外に出すことを検討すべき**」との指摘を踏まえ、県庁内でオリジナルの美術工芸品については、中城御殿跡で展示収蔵する方針で検討することを確認。

令和3年3月29日首里城復興基本計画（沖縄県）_中城御殿跡の整備に関する記載事項

○基本施策3 首里城公園のさらなる魅力向上

中城御殿跡の整備と展示・収蔵等機能の拡充

首里城に関連する文化財等を展示・収蔵する機能も含め、県営公園区域にある中城御殿跡の復元を検討・実施することで、歴史的空間を体験できる場を創出する。

○基本施策6 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進

中城御殿跡や円覚寺等の歴史文化遺産の整備

首里城公園において琉球・沖縄の豊かな歴史文化を多面的に伝えるために、県営公園区域にある中城御殿、円覚寺跡や松崎馬場等の重要な歴史文化遺産を計画的に整備し、公園内の回遊性を高めることで、国営公園と一体となった歴史的空間を体験できる場を創出する。

1.中城御殿跡地整備基本計画の改定の経緯（首里城火災後）

令和3年5月 新たな振興計画（素案）沖縄県_中城御殿跡の整備に関する記載事項

第4章 基本施策

1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して

(5)悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成

ア首里城の復興

②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進

- 首里城公園の特性や様々な想定される出火要因等を踏まえた新たな防火対策等の実施や公園全体の防火対策の強化を図り、国や関係機関と連携した再発防止策の策定及び安全性の高い施設管理体制の構築により、二度と火災により焼失を生じさせないよう取り組む。
- 県営公園内の**中城御殿跡**や円覚寺跡を整備し、**国営・県営公園区域の文化遺産等を一体的に利用することで、首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できるよう、歴史的空間の創出に取り組む。**
- 首里城の歴史的空間の中で、公園利用者が歴史や文化を体験できる行催事やユニークベニュー等を推進し、首里城公園の魅力の向上に取り組む。
- 首里城を中心とした首里杜地区において、県・市・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進に取り組む。
- **首里杜地区の歴史を体現できる都市空間の創出を図るため、中城御殿や円覚寺等の歴史文化遺産の計画的な整備**のほか、地域に点在する文化資源の段階的な整備について、事業主体や保存に係る調査等の課題解決に向け、那覇市、国と連携して取り組み、実現可能な方策や観光資源としての利活用の検討に取り組む。
- 観光交通の分散化、大型バス駐機場やパークアンドライドの推進等による観光客の受入環境の整備、龍潭線や周辺道路の無電柱化や道路整備による交通環境の整備、通過交通の減少に資する那覇インターアクセス道路の早期事業化等に加え、公共交通網の充実やICTを活用した情報提供による歩行者中心で快適な道路空間を有する歴史まちづくりに取り組む。

2.中城御殿跡地整備基本計画の改定に関する主な検討事項

令和3年度 検討委員会

- 平成22～26年度の検討委員会で策定された「中城御殿跡地整備基本計画」について改定を実施。

①中城御殿の展示計画の見直し（美術工芸品の保存管理）

- 城郭内で扱っていたオリジナルの美術工芸品等について、中城御殿で展示・収蔵する方向で検討を行う。
- 中城御殿の展示計画について、他館からの借用展示も視野に入れた検討を行う。
- 特別展示エリアの導入機能や必要規模等を踏まえ、適切な保存環境に対応できるよう建物形態等の再検討を行う。
- バックヤード機能について、従前の課題も踏まえた検討を行う。
- 管理運営体制については指定管理者制度の活用を想定しており、課題等について検討を行う。

②追加すべき導入機能の検討（修復機能）

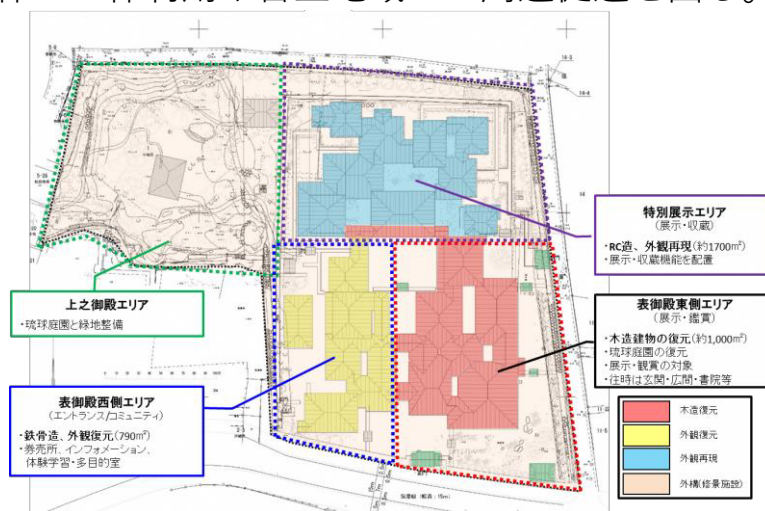
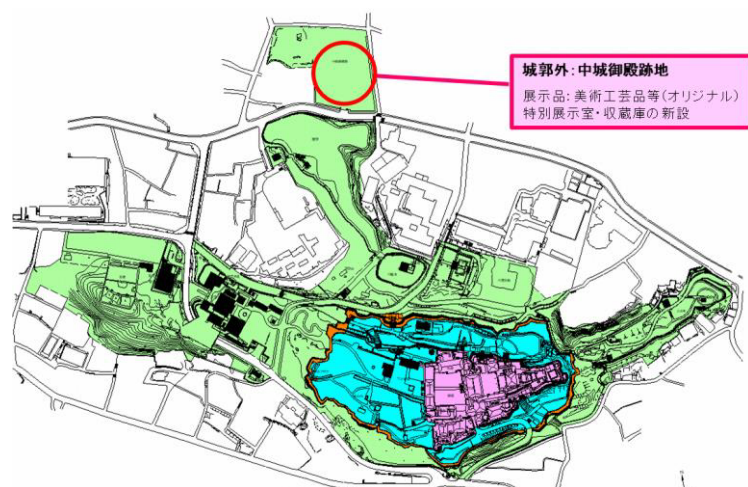
- 中城御殿における修復機能の追加について、必要性やスペースの確保等の課題の検討を行う。

③施設全体の防災・防火対策の強化

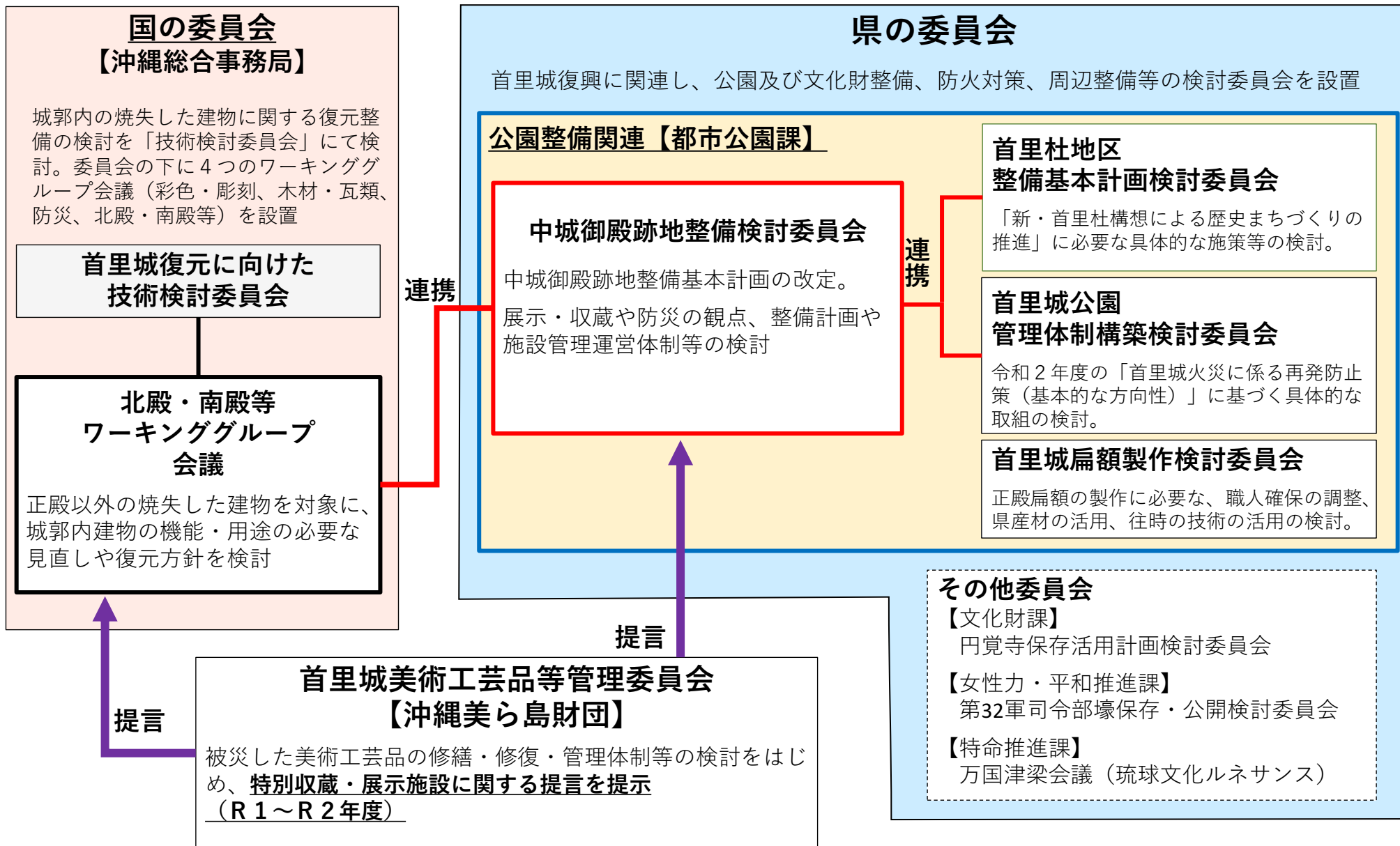
- 施設全体の防火対策・延焼対策に関して、国の技術検討委員会や県の首里城公園管理体制構築検討委員会の提言等を踏まえた検討を行う。

④公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

- 県営区域の各施設の魅力向上を図ることにより、公園全体の一体利用や首里地域への周遊促進を図る。



3. 中城御殿跡地整備検討委員会に関連する委員会等（令和3年度）



4.令和3年度 中城御殿跡地整備検討委員会

- 検討事項は「中城御殿跡地整備基本計画の改定」に必要な、**防火・防災対策の強化、展示・収蔵機能の拡充、国営・県営区域の一体的利用、周遊観光の促進など**に関すること。
- 展示・収蔵に関する詳細な検討は、有識者委員と関係部局からなる部会を設置し検討を行う。

検討委員会_3回予定

委員	歴史	田名 真之	沖縄県立博物館・美術館 館長
	歴史	高良 倉吉	琉球大学 名誉教授
	都市計画	池田 孝之	琉球大学 名誉教授
	考古、漆芸史	安里 進	沖縄県立芸術大学 名誉教授
	景観、建築	山城 一美	(公社)沖縄県建築士会副会長
	保存科学	早川 泰弘	東京文化財研究所 副所長
	地域、建築	伊良波 朝義	NPO法人首里まちづくり研究会理事長 (公社)日本建築家協会沖縄支部 支部長

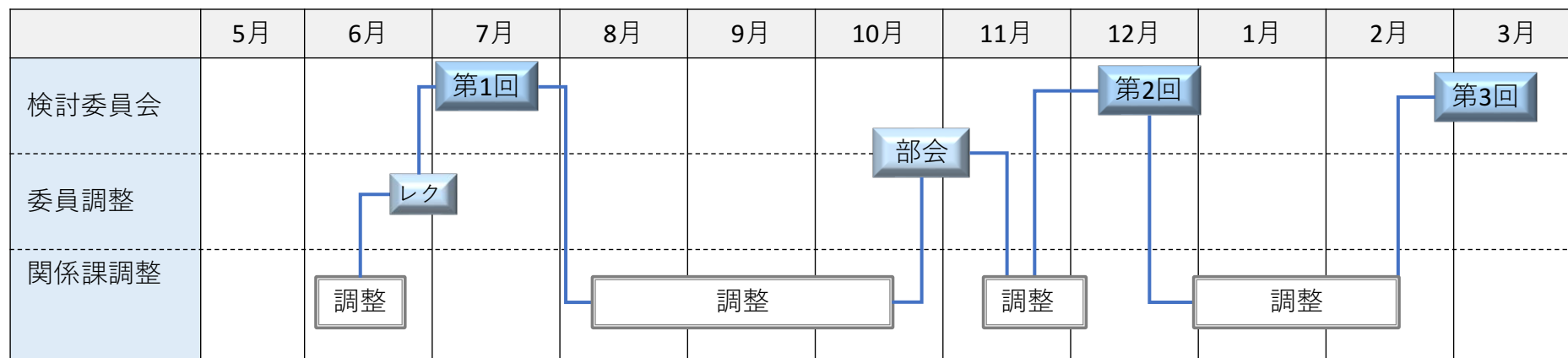
協力委員	沖総局	望月 一彦	開発建設部 公園・まちづくり調整官
	沖縄県	高嶺 賢巳	土木建築部 参事
		金城 利幸	土木建築部 南部土木事務所長
		諸見 友重	教育長 文化財課長
		上原 毅	文化観光スポーツ部文化振興課 県立博物館・美術館 博物館副館長
	那覇市	島袋 勝	都市みらい部 参事兼都市計画課長
		大城 敦子	市民文化部 文化財課
	指定管理者	西銘 宜孝	(一財)沖縄美ら島財団 事務局長

展示・収蔵部会_1回予定

- 展示・収蔵に関する詳細・具体的な内容を議論する。
- 関係機関は公園管理及び文化財等の保存管理に関する関係者で構成する。
- 全1回開催予定。
(必要に応じて個別調整実施)

【委員】	【関係部局】	
田名 真之 高良 倉吉 安里 進 早川 泰弘	沖総局	開発建設部 建設産業地方整備課
	沖縄県	土木建築部参事、都市公園課、文化財課、県立博物館・美術館
	那覇市	文化財課
	指定管理者	(一財)沖縄美ら島財団

5. 検討スケジュール（予定）



回	開催月	会議名	議論テーマ、検討事項（案）
1	7月	中城御殿跡地整備 検討委員会①	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画及びその後の動きについて確認・共有 改定の考え方・配慮すべき事項についての確認
2	10～ 11月	中城御殿跡地整備 展示・収蔵部会	<ul style="list-style-type: none"> 展示・収蔵規模、収蔵環境に関する検討
3	12月	中城御殿跡地整備 検討委員会②	<ul style="list-style-type: none"> 改定案の確認（エリア別の整備計画、展示・動線・管理計画、外構計画等）
4	3月	中城御殿跡地整備 検討委員会③	<ul style="list-style-type: none"> 整備基本計画改定（案）の検討 整備スケジュール案の作成 段階的公開の考え方について